

東京国際空港（羽田空港）の新しい滑走路（D滑走路） ～山砂安全連絡会の開催／H21年度の山砂運搬計画決定～

トピックス

24時間365日の昼夜連続工程で進められている羽田空港の4本目となる新しい滑走路（D滑走路：長さ2,500m）の建設工事においては、埋立（注1）に使用する土砂として、主に、千葉県産の山砂（注2）を運搬・使用している。

今般、5月27日（水）に開催された「山砂安全連絡会」（注3）において、陸上運搬の最終年度（3ヶ年目）となるH21年度の山砂運搬計画が了承された。

今年度（最終年度）の山砂運搬計画の特徴としては、数次にわたる地元関係者との意見交換を踏まえ、地元沿道環境への影響を極力回避・低減する観点から、①月当たり最大運搬量を昨年度の実績値以下に制限、②陸上運搬にあたっては高速道路を最大限活用、③観光シーズン（夏季）における運搬自粛、等を積極的に計画に盛り込み、地元にも極力迷惑を掛けない内容としている。（<http://www.pa.ktr.mlit.go.jp/haneda>）

また、山砂の陸上運搬にあたっては、沿道環境への影響を極力回避・低減するよう、運転ルール・マナーの周知徹底や安全パトロールの強化などの対応を引き続き行い、関係者一同、安全な運搬の徹底に最大限努めていくこととしたい。

（注1） 新設する滑走路島の全長約3,000mのうち、約2,000mが埋立構造、残りの約1,000mが多摩川の流れを阻害しない栈橋（ジャケット）構造となる。千葉県産の山砂は滑走路の基盤となる埋立に約2,000万m³使用される予定。

（注2） 山砂採取地は、木更津市、君津市、富津市、袖ヶ浦市、市原市の5市に分布しており、殆どは高速道路を使用して山砂採取地から木更津港、袖ヶ浦港に陸上運搬の後、船舶に積み込み、羽田の工事現場まで海上輸送しています。

（注3） 「羽田再拡張D滑走路建設工事山砂安全連絡会」を言う。千葉県、千葉県警察、地元5市（木更津市、市原市、君津市、富津市、袖ヶ浦市）、関東運輸局千葉運輸支局、東日本高速道路（株）、関東地方整備局、D滑走路工事JV、羽田空港山砂納入安全協議会（山砂関係事業者）で構成され、山砂の陸上ダンプ運搬に関して、運搬ルール、運搬経路、交通安全対策、環境保全対策、苦情対応等について審議する。

平成21年5月27日（水）

国土交通省 関東地方整備局 東京空港整備事務所

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 東京空港整備事務所 D滑走路プロジェクト推進室 松本・木島
住所 東京都大田区羽田空港3-5-7 メンテナンスセンターアネックス5F
電話 03-5756-6575
HP <http://www.pa.ktr.mlit.go.jp/haneda/haneda/index.html>

第7回 羽田再拡張D滑走路建設工事山砂安全連絡会



於:平成21年5月27日(水) 京成ホテルミラマーレ 6F ローズルーム 14:00~16:00